

ジェンダー史学会シンポジウム

ポスト「戦後70年」とジェンダー史—地域のジェンダー実践を思考の手がかりに—

日時：2016年6月26日(日)13:00-17:00

場所：お茶の水女子大学 共通講義棟2号館1階101教室

*日曜日は、お茶の水女子大学南門は閉まっています。正門からお入りください

入場無料

総合司会 高橋裕子（津田塾大学）

趣旨説明 長志珠絵（神戸大学）

第1部

司会/モデレーター 平井和子（一橋大学非常勤講師）

報告1 高雄さくえ（ひろしま女性学研究所）

「被爆70年ジェンダー・フォーラム in 広島を終えて—「ヒロシマという視座の可能性」は見えたのか？」

報告2 ヴェール ウルリケ（広島市立大学）

「国家と地域を横断する地域の女性運動：広島「デルタ・女の会」」

報告3 高橋博子（明治学院大学国際平和研究所研究員）

「ヒロシマはどこに向かうのか—抑止論にあらがう—」

第2部

討論 コメント1 貴堂嘉之（一橋大学）

コメント2 加藤千香子（横浜国立大学）

質疑応答

17:00-18:00 茶話会 500円

問合せ先：ジェンダー史学会お茶大シンポジウム2016 ochasympo@gmail.com

共催：ジェンダー史学会、お茶の水女子大学ジェンダー研究所